

会議	ページ	意見内容	区分	回答
1125市民 会議	70	70ページに「地域の温室効果ガス排出量に影響を与えないことも考えられます」と書いてあるが、この表現はどうか。 「このように指導します」ならわかるが他力本願である。「指導します」のほうがいい。	【書き方】	企業が再エネ由来の電気等を使用した場合について、記載したものです。
1125市民 会議	116	市民会議とか中学生会議の意見は掲載するとのことだが、環境推進市民会議で出た意見は載せてもらえないのか。	【掲載内容】	今後検討していくと回答した意見の要旨を資料編 資料4に各種会議での意見として追加いたしました。
1125市民 会議		緑化については企業などに指導しているのはわかるが、さらに進める考えはないのか。 例えば、印西市は国に比べ規制を厳しくしていると思うが、さらに緑地を増やすことを指導するというような考えはないのか。 企業が立地したところ、或いは住宅ができたところの緑が減った分をどこかで増やすとか、そういうことが必要なのではないかと思う。 ヨーロッパの都市では緑の被覆率を30%としている。日本の場合は、森が多いのでそういうことを考えなくてもいいと言えはいいが、東京なんかは9%ぐらいしかない。印西市の場合は多いと思うが、開発区域はもともと全部緑だった。緑地の面積を広くする必要があると思う。印西市では、さらに厳しくしてほしい。	【条例・規則】	今後の検討課題とさせていただきます。
1125市民 会議		企業に対して、積極的に条例で緑を確保することを求めるということができないのではないか。特に今、印西は企業に人気。昔のように来てくださいという時代ではなくなっているので、ぜひ印西市として積極的な全国に誇れるような条例を作っていただきたい。	【条例・規則】	今後の検討課題とさせていただきます。
1125市民 会議		地中熱の活用について、太陽光発電設備に対する規制を設けるべき	【条例・規則】	今後の検討課題とさせていただきます。
1125市民 会議	86	78ページに市民ができることとして、バイオ炭を導入するということを追加していただきたい。 または、88ページの「カーボン・オフセットに関する検討」にバイオ炭の検討について記載してはどうか。 印西は森林も多く竹も切らなければならないため、多く排出される。 そういうものをバイオ炭にする企業と取引ができるのではないか。 なぜ、バイオ炭がいいかというと、炭になり埋めることによって、二酸化炭素の排出を遅らせることができる。 印西のように緑に恵まれ、かつ公園管理も適正であり、伐採した木が多く排出されるところは、バイオ炭についてしっかり検討し、企業とのオフセットでやればいいと思う。これらを真剣に検討して欲しい。	【施策】	86ページ「森林・里山・農地の保全」に事業者の取組として、「バイオ炭を農地の土壌改良材として使用すること等持続可能な農業を推進し、環境負荷の低減を行います。」を追記し、また、環境保全課の取組として、「里山などで伐採された竹木を資源とする有効な活用方法を検討します。」を追記します。
1125市民 会議	87	植樹イベントに参加するとあった。 どのように植樹イベントに参加するかはわからなかったが、市民も巻き込んで積極的に植える場所があるとしたら、企業用地しかないと思う。そういうところに市民も参加するとか適正に管理するだけではなく緑が減っている現状では、増やすということがあるかもしれないが、言葉が足りないと思う。	【施策】	植樹イベントの開催地は、企業用地をはじめ様々な場所を想定しています。そのようなイベントが開催された際に、市民の皆様には積極的に参加いただきたく、この様な記載としています。

会議	ページ	意見内容	区分	回答
1125市民 会議	92	フォーラムの開催や環境学習の推進等、市民への関わりについて記載されているが、もう少し具体的に記載していただきたい。 私たちが2050年カーボンニュートラルを達成したときに、利益を得るのは今の子供たちである。そのため、子供たちへの教育や参加意識を高めることで、より印西市がカーボンニュートラルに推進していくのではないかとと思う。	【施策】	今後、取組を進めていく中で、詳細を検討していきます。
1125市民 会議	106	「市民生活・都市生活」の「ヒートアイランド対策として 都市公園や街路樹をはじめとする街中の緑を適正に管理します」と書いてあるが、適正に管理するだけではなく積極的に増やすということも必要なのではないかとと思う。	【適応】 【施策】	市民・事業者の取組として「～住宅地や事業所の緑化を進めます。」と緑化に関する取組を記載しております。
1125市民 会議	105	地球温暖化の緩和策として、各家庭でも、水の浸透を地下にして、雨水に流さないまちづくりをしようというのがある。雨庭と言うのだが、それも検討していただきたい。各家庭ができることの1つである。	【適応】 【施策】	適応策の自然災害において、市民・事業者の取組として「雨庭（地上に降った雨水を下水道に直接放流することなく一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させる構造を持った植栽空間）の整備を積極的に行います。」を追加します。
1125市民 会議	103	印西市における気候変動の影響評価 実際に里地・里山を見ているので危機的な状況になるのがわかる。 印西市ではトウキョウダルマガエルがすごく多い場所だったが、地球温暖化によってヌマガエルが増えている。私たちの耕している田でも、トウキョウダルマガエルを1匹見るためには、ヌマガエルが100匹ぐらい見られる。ニュータウンでもヌマガエルが来ている。この状況は、中程度の影響とは言えないと思う。大きく生態系が変わってくるのではないかとと思う。 「生物季節」についても、ものすごい季節が変わっている。花の咲く時期が変わると鳥が育つ時期、要するに花がついたら虫がついて、その虫を食べて鳥が育つ。鳥が卵を孵す時期を早めなければいけないが、そこまで鳥がついていけるかどうか。或いは渡り鳥にはどうなのかと考えると、この程度の影響ではないというふうに思う。 印西市独自の評価としてはどうかと思う。 緊急性の欄の三角（中程度）も非常にあやしいのではないかとと思うので、ここを国の評価ではなく印西市の評価として具体的にカエルの例を挙げて書いていただいたらみんなにわかるのではないかとと思う。	【適応】	印西市独自の評価を記載するためには、各種調査の実施や、専門家へのヒアリング等が必要であると考えますが、計画策定までに実施することが困難であることから、国の評価を記載いたします。
1125市民 会議		地中熱ヒートポンプシステムの導入という提案 これを印西市でもやりたいと思っているが、民間がやると掘るための工事にお金がかかる。 これをできるだけ安くするためには、普及しなければならない。 各地で取り組んでいるが、印西市も先駆けて新しい技術を導入してはどうか。 市の施設にこの地中熱ヒートポンプシステムを導入してはどうかという提案である。	【その他】	市有施設における取組に関して、事務事業編（庁内エコプラン）の見直しも予定しているため、今後の検討課題とさせていただきます。